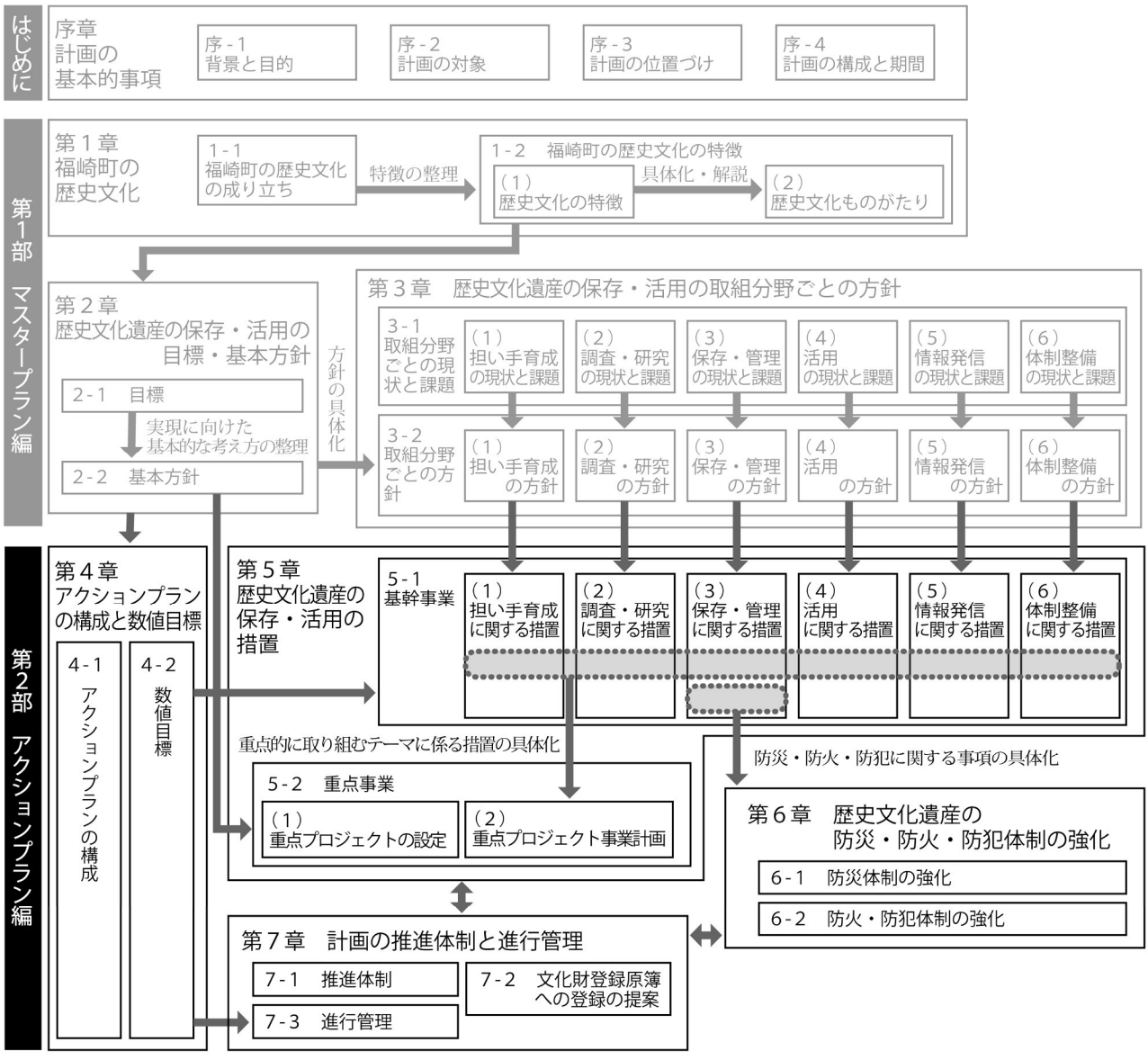
第　２　部
歴史文化遺産の保存・活用の方策
【アクションプラン編】

第２部では、第１部で示した目標「**“美しき村”を目指す歴史文化まちづくり**」
を実現するために、設定した方針に基づく取組内容を具体化し、
本計画の計画期間（７年間）で実施する事業計画や推進体制等を示しています。



第４章　アクションプランの構成と数値目標

４－１　アクションプランの構成

「第２部　歴史文化遺産の保存・活用の方策【アクションプラン編】」（第４章～第７章）では、「第１部　歴史文化遺産の保存・活用の考え方【マスタープラン編】」で設定した目標「“美しき村”を目指す歴史文化まちづくり」と、その実現に向けた方針に基づき、歴史文化遺産の保存・活用の取組を着実かつ効果的に実施するための具体的な方策を定めます。

アクションプラン編の各章では次の事項を定めます。

● 第４章　アクションプランの構成と数値目標（本章）

アクションプランの構成と、第２章で定めた目標の実現に向けた具体的な数値目標を定めます。

● 第５章　歴史文化遺産の保存・活用の措置

歴史文化遺産の保存・活用のために、計画期間に実施する措置を定めます。措置は、次の２つの事業で構成し、福崎町の歴史文化の魅力の向上等を通じて、“美しき村”へと前進していきます。（図 4-1）

5-1　基幹事業：福崎町の歴史文化を確実に保存・継承し、歴史文化の魅力を底上げするための基本となる措置です。

第３章の「3-2　取組分野ごとの方針」を踏まえて、取組分野ごとに設定します。

5-2　重点事業：福崎町の歴史文化の特徴を育み、まちづくりに戦略的に活かし、歴史文化の魅力に磨きをかけるための措置です。

第１章の「福崎町の歴史文化の特徴」で整理した「歴史文化ものがたり」や第２章の「歴史文化遺産の保存・活用の目標と基本方針」などを踏まえて、重点的に取り組むテーマを設定し、一連の事業計画を設定します。

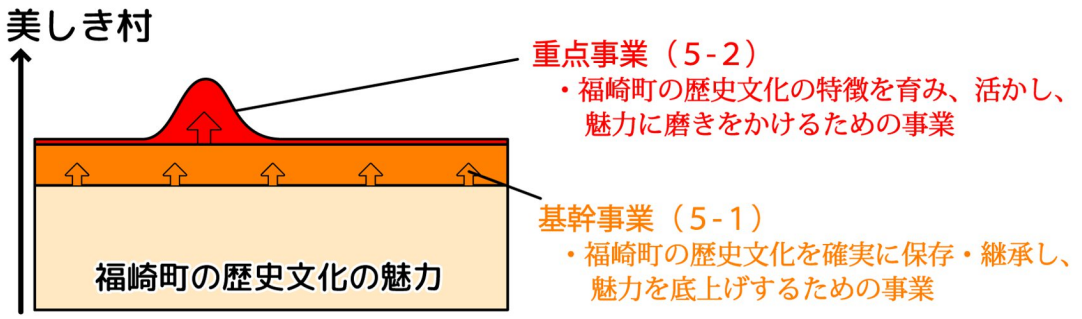


図 4-1　措置の構成（基幹事業と重点事業による“美しき村”を目指した取組イメージ）

● 第６章　歴史文化遺産の防災・防火・防犯体制の強化

第５章 5-1 で定める措置のうち、特に歴史文化遺産の防災・防火・防犯に対する事項について、その内容を具体化して示します。

● 第７章　計画の推進体制と進行管理

計画の推進に向けた各主体の役割と連携体制、文化財保護法に基づく文化財登録原簿への登録の提案に関する事項、計画の進行管理の方法について定めます。

４－２　数値目標

目標とする「“美しき村”を目指す歴史文化まちづくり」の実現に向けて、関係するさまざまな主体が協働して取り組むためには、どのような状況をつくり出していくかを分かりやすく示すことで、目標の共有を促していくことが求められます。具体的には、本計画に基づく各種施策・事業の展開を通じて、第２章で掲げた５つの基本方針に基づく取組が進められている状況をつくり出すことが、「美しき村」へとつなげていく第一歩であるといえます。

そこで、５つの基本方針をもとに、本計画期間において目指す数値目標を表 4-1 のとおり設定します。なお、令和 10 年度には、この数値目標をもとに計画の効果を検証し、次期計画の作成に活用していきます。

表 4-1　数値目標（令和 10 年度の目標値）

基本方針	指標	数値目標 注1	
		基準値（基準年次）	目標値（令和10年度）
1「こころ豊かなひとづくり」に取り組みます	①まちの歴史や伝統を感じられることを誇りに思う住民の割合	16.2％（H30）	20.0％
	②福崎町の歴史文化を大切に思う中学生の割合	32.5％（R２）	35.0％
2「自立（律）のまちづくり」を進めます	③福崎町の歴史や地域の伝統文化を次世代に引き継ぐ活動に参加している住民の割合	12.6％（H30）	15.0％
	④重点的に保存・活用に取り組みたい歴史文化遺産がある自治会の割合	78.8％（R２）	90.0％
3「福崎“つながり人”」が連携・協働します	⑤福崎町の歴史や地域の伝統文化を次世代に引き継ぐ活動に参加している企業勤務者（町外居住）の割合	1.2％（H30）	5.0％
	⑥福崎町の歴史や地域の伝統文化を次世代に引き継ぐ活動に参加している大学生の割合	8.9％（H30）	10.0％
4 歴史文化がつくる「福崎らしさ」を活かします	⑦知人や友人を案内したい町内の観光地がある住民の割合	36.7％（H30）	40.0％
	⑧主要な歴史文化遺産等（９つ）のうち、中学生の認知度が 50％以上のものの数	５つ（H30）	９つ
5「地域間交流」により歴史文化遺産の魅力を高めます	⑨観光入込客数	416 千人（R１）	500 千人
	⑩近隣の市町との連携などによる広域行政の推進に関する施策が重要と思う住民の割合	52.5％（H30）	60.0％

注１：目標値は、上位・関連計画との整合・調整や社会情勢の変化への対応の必要性、事業計画の進捗状況等を踏まえて、必要に応じて見直しを行います。
なお、指標⑨の目標値は、第５次総合計画後期基本計画に示す「めざそう値」（令和５年（2023）の目標値）を示していますが、今後、第６次総合計画に示される目標値に修正する予定です。

それぞれの指標の測定方法は、表 4-2 のとおりです。

なお、「住民アンケート調査」、「大学生アンケート調査」、「企業アンケート調査」は、福崎町総合計画の作成にあたって実施、「自治会アンケート調査」、「中学生アンケート調査」は、本計画の作成・改訂にあたって実施するものとし、観光動態調査は、兵庫県による観光動態調査をさします。

表 4-2　指標の測定方法と内容

指標	測定方法	指標の具体的な内容
①	住民アンケート調査	・福崎町の好きなところ、誇れるところとして、「まちの歴史や伝統が感じられる」を回答する住民の割合
②	中学生アンケート調査	・福崎町の歴史文化が、自分たちにとって「とても大切」であると回答する中学生の割合
③	住民アンケート調査	・日頃の行動や活動として、「福崎町の歴史や地域の伝統文化を次世代に引き継ぐ活動」に「継続して参加している」又は「ときどき参加している」と回答する住民の割合
④	自治会アンケート調査	・今後自治会で重点的に保存・活用に取り組みたい歴史文化遺産とその内容を尋ねる設問に対して、少なくとも 1 つの歴史文化遺産をあげられる自治会の割合
⑤	企業アンケート調査	・日頃の行動や活動として、「福崎町の歴史や地域の伝統文化を次世代に引き継ぐ活動」に「継続して参加している」又は「ときどき参加している」と回答する企業勤務者（福崎工業団地・企業団地内の従業員 50 名以上の企業等の町外から勤務者）の割合
⑥	大学生アンケート調査	・日頃の行動や活動として、「福崎町の歴史や地域の伝統文化を次世代に引き継ぐ活動」に「継続して参加している」又は「ときどき参加している」と回答する大学生（神戸医療未来大学の学生）の割合
⑦	住民アンケート調査	・知人や友人を案内したいと思う町内の観光地の有無について、「ある」と回答する住民の割合
⑧	中学生アンケート調査	・9 つの歴史文化遺産等（「柳田國男と民俗学」、「吉識雅夫」、「銀の馬車道」、「エ．大庄屋三木家住宅」、「播磨国風土記」、「固寧倉」、「秋祭り・屋台」、「かくしほちょじ」、「七種山」）のそれぞれついて、「よく知っている」「大体知っている」「少し知っている」のいずれかの回答をした中学生の割合が 50%以上のものの数
⑨	観光動態調査	・年間入込 10,000 人以上及び特定月 5,000 人以上の観光地、観光施設、イベント等の延べ入込客数のデータ ※延べ入込客数調査のため、複数の観光地等を訪れた場合は重複してカウントされる
⑩	住民アンケート調査	・福崎町が実施する施策の重要度について、「近隣の市町との連携などによる広域行政の推進」が「重要」又は「やや重要」と回答する住民の割合